

Q59

HIV感染予防の判断基準，並びに予防薬の常備の必要性と常備していない場合の入手方法について教えてください。

A

HIV患者の針刺し事故後の予防服薬の判断基準は，曝露の程度と，患者の状態によりどのように予防薬を服用したらいいのかMMWR SEP30, 2005, VOL54, No. RR-9に記載されています¹⁾。ただし，判断基準は，一つ前のガイドラインの方がわかりやすいので，そちらを添付しておきます。ただし，使用する薬剤については，抗HIV薬の増加に伴い，特定の薬剤の指定がなくなっています。基本レジメンとは，2剤による予防をさしますが，一般的には核酸系逆転写酵素阻害薬を想定していることが多いと思います。拡大レジメンには，3剤以上の薬剤を使用することになります。ただし，基本レジメンも拡大レジメンも患者の治療薬の服薬状況により変化しうることになります。

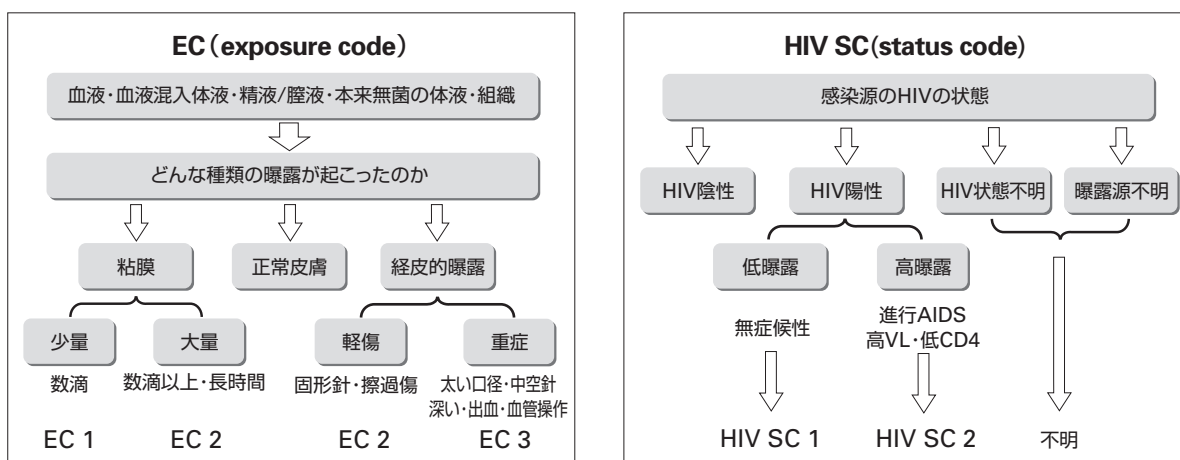


表 推奨される曝露後予防

EC	SC	PEP recommendation
1	1	予防を勧めない
1	2	基本レジメンを検討
2	1	基本レジメンを推奨
2	2	拡大レジメンを推奨
3	1 or 2	拡大レジメンを推奨
2 or 3	不明	基本レジメンを検討

HIV感染者を診療している施設では，その患者の薬剤があると思います。患者のいない施設では，常備の必要はないと思います。常備していない場合には，最寄りのエイズ拠点病院*にお問い合わせください。

*エイズ拠点病院は下記のホームページで閲覧可能です。
<http://api-net.jfap.or.jp/>

文献

1) Morbidity and Mortality Weekly Report 2005; 54 (SEP30): 1-13